

科目名	キャリア教育Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	青山 美樹
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部Ⅱ	授業 形態	講義・演習・実習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとしてで活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	青山 美樹
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習・実習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。 コミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義	進級を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える	配布プリントを記入し次回提出	
2		演習	「チームワーク力」：現状と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
3		演習	「働きかけ力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
4		演習	「創造力」：新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
5		講義	職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出	
6		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出	
7		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	学校指定履歴書の右欄を記入し提出	
8		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う	
9		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施（基本的対話スキルについて）	配布プリントを記入し次回提出	
10		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施（自己表現スキルについて）	配布プリントを記入し次回提出	
11		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施（社会的スキルについて）	配布プリントを記入し次回提出	
12		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施（サービスマインドについて）	配布プリントを記入し次回提出	
13		試験	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受験	本日の試験で出来なかった部分を各自復習	
14		実習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出	
15		実習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出	
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】					
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック					

科目名	キャリア教育3	必修選択	必修	年次	2	担当教員	青山 美樹
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業形態	講義・演習・実習	総時間(単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		演習	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出	
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出	
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出	
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出	
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出	
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出	
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出	
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出	
14		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出	
15		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出	
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】					
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック					

科目名	キャリア教育4	必修選択	必修	年次	2	担当教員	青山 美樹
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業形態	講義・演習・実習	総時間(単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		演習	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出	
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出	
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出	
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出	
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出	
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出	
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出	
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出	
14		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出	
15		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出	
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】					
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック					

科目名	キャリア教育Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	瀬戸 香織
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習・実習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴	玉川大学文学部芸術学科芸術表現演劇コース卒業。2003年～2010年まで、ワイドアートの専門家として、全国各地のミュージカル事業に携わる他、演出、演出助手、文芸助手、舞台俳優、MC、コーディネーターとして活動。2011年～現在に至るまで東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校の常勤スタッフとして勤務。						
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとしてで活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	瀬戸 香織
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習・実習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴	玉川大学文学部芸術学科芸術表現演劇コース卒業。2003年～2010年まで、ワイドアートの専門家として、全国各地のミュージカル事業に携わる他、演出、演出助手、文芸助手、舞台俳優、MC、コーディネーターとして活動。2011年～現在に至るまで東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校の常勤スタッフとして勤務。						
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようにする。 コミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義	進級を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える	配布プリントを記入し次回提出	
2		演習	「チームワーク力」：現状と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
3		演習	「働きかけ力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
4		演習	「創造力」：新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
5		講義	職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出	
6		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出	
7		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	学校指定履歴書の右欄を記入し提出	
8		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う	
9		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施（基本的対話スキルについて）	配布プリントを記入し次回提出	
10		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施（自己表現スキルについて）	配布プリントを記入し次回提出	
11		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施（社会的スキルについて）	配布プリントを記入し次回提出	
12		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施（サービスマインドについて）	配布プリントを記入し次回提出	
13		試験	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受験	本日の試験で出来なかった部分を各自復習	
14		実習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出	
15		実習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出	
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。			
【使用教科書・教材・参考書】					
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック					

科目名	キャリア教育3	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	瀬戸 香織
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習・実習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴	玉川大学文学部芸術学科芸術表現演劇コース卒業。2003年～2010年まで、ワイドアートの専門家として、全国各地のミュージカル事業に携わる他、演出、演出助手、文芸助手、舞台俳優、MC、コーディネーターとして活動。2011年～現在に至るまで東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校の常勤スタッフとして勤務。						
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		演習	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出	
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出	
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出	
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出	
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出	
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出	
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出	
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出	
14		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出	
15		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出	
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】					
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック					

科目名	キャリア教育4	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	瀬戸 香織
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習・実習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴	玉川大学文学部芸術学科芸術表現演劇コース卒業。2003年～2010年まで、ワイドアートの専門家として、全国各地のミュージカル事業に携わる他、演出、演出助手、文芸助手、舞台俳優、MC、コーディネーターとして活動。2011年～現在に至るまで東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校の常勤スタッフとして勤務。						
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		演習	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出	
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出	
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出	
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出	
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出	
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出	
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出	
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出	
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出	
14		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出	
15		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出	
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】					
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック					

科目名	舞踊舞台史1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	目井 浩崇
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	舞台の歴史の講義と、グループ発表を通して、舞台の歴史を学ぶ。 演劇の歴史を学び、俳優・声優として最低限必要な教養を身につける。 また、芸能界で常識とされている舞台の知識や用語も学ぶ。						
到達目標	舞台の歴史を全体的に網羅し、その上で自分が好きな演劇を見つけられるようになる。 芸能界で活躍するための最低限の知識・教養を身につけ、自分のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台の歴史の流れの主軸を理解する	
2		講義・演習	古代ギリシア演劇～中世	古代ギリシア演劇についてグループ研究し、レポートにまとめる
3		講義・演習	古代ギリシア演劇の研究発表	他グループの発表を聞き、自分たちの感想をレポートにまとめる
4		講義・演習	古代ギリシア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
5		講義・演習	シェイクスピアの作品に触れる	シェイクスピア作品についてグループ研究し、レポートにまとめる
6		講義・演習	シェイクスピア演劇の研究発表	グループでの発表をレポートにまとめる
7		講義・演習	シェイクスピア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
8		講義・演習	フランス演劇の台頭 三単一の一致の法則 スペイン演劇、ロシア演劇のリアリズム	グループでの発表をレポートにまとめる
9		講義・演習	フランスのシュールレアリズム演劇、ミュージカル演劇、ピンター	グループで「シュールレアリズム演劇」か「ロシア演劇」の戯曲を選び一部発表できるよう準備する
10		講義・演習	シュールレアリズム演劇かロシア演劇での発表	グループでの発表をレポートにまとめる
11		講義・演習	日本の古典演劇、能、狂言、歌舞伎、落語	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
12		講義・演習	日本演劇の文明開化 新劇 岸田國士	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
13		講義・演習	アングラ演劇・近代演劇について	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad(デジタル教材:舞台舞踊史)				

科目名	舞踊舞台史2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	目井 浩崇
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	舞台の歴史の講義と、グループ発表を通して、舞台の歴史を学ぶ。 演劇の歴史を学び、俳優・声優として最低限必要な教養を身につける。 また、芸能界で常識とされている舞台の知識や用語も学ぶ。						
到達目標	舞台の歴史を全体的に網羅し、その上で自分が好きな演劇を見つけられるようになる。 芸能界で活躍するための最低限の知識・教養を身につけ、自分のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台の歴史の流れの主軸を理解する	
2		講義・演習	古代ギリシア演劇～中世	古代ギリシア演劇についてグループ研究し、レポートにまとめる
3		講義・演習	古代ギリシア演劇の研究発表	他グループの発表を聞き、自分たちの感想をレポートにまとめる
4		講義・演習	古代ギリシア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
5		講義・演習	シェイクスピアの作品に触れる	シェイクスピア作品についてグループ研究し、レポートにまとめる
6		講義・演習	シェイクスピア演劇の研究発表	グループでの発表をレポートにまとめる
7		講義・演習	シェイクスピア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
8		講義・演習	フランス演劇の台頭 三単一の一致の法則 スペイン演劇、ロシア演劇のリアリズム	グループでの発表をレポートにまとめる
9		講義・演習	フランスのシュールレアリスム演劇、ミュージカル演劇、ピ ンター	グループで「シュールレアリスム演劇」か「ロシア演劇」の戯曲を選び一部発表できるよう準備する
10		講義・演習	シュールレアリスム演劇かロシア演劇での発表	グループでの発表をレポートにまとめる
11		講義・演習	日本の古典演劇、能、狂言、歌舞伎、落語	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
12		講義・演習	日本演劇の文明開化 新劇 岸田國士	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
13		講義・演習	アングラ演劇・近代演劇について	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad(デジタル教材:舞台舞踊史)				

科目名	英会話	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀 ゆり子		
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)				
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二								
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。								
授業の学習 内容	外国人を前に怖がりたり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。								
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。								
評価方法と基準	筆記テストによる採点								

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 14
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願いできるようになる	オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文できるようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明できるようになる	オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明できるようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13		講義・演習	復習	復習オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	
15		講義・演習	振り返り	
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名	韓国語	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鄭 壽美
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ハングルの理解、読み、聞き、作文まで対応 学んだ内容を基に、チームワークで会話の練習を行う 教科書で学んだものを応用して活用できるような発表も行う						
到達目標	韓国語での日常会話が可能になる 韓国語能力試験(TOPIK)の獲得を目標にします						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ハングルの理解を深める。	ハングルの復習を行う。
2		講義	ハングルの読みをマスターする。	ハングルの読みの復習を行う。
3		講義	ハングルの読みの確認。	ハングルの読みの復習を行う。
4		講義	パッチムの理解し使える。	パッチムの理解の復習を行う。
5		講義	リスニング練習・テストと復習	リスニング練習・テストと復習
6		講義	挨拶の会話文作って話せる。	挨拶の会話文作っての復習を行う。
7		講義	「あります」「ありません」を使った表現を使う。	「あります」「ありません」を使った表現の復習を行う。
8		講義	形容詞の応用を理解する。	形容詞の応用の復習を行う。。
9		講義	敬語を理解する。	敬語を理解の復習を行う。
10		講義	過去形文を理解する。	過去形文を理解の復習を行う。
11		講義	未来形文を理解する。	未来形文を理解の復習を行う。
12		講義	可能系文を理解する。	可能系文を理解の復習を行う。
13		講義	作文を理解する。	作文を理解の復習を行う。
14		講義	「あります」「ありません」を使った表現を使う。	「あります」「ありません」を使った表現の復習を行う。
15		講義	前期実施項目の復習	前期実施項目の復習を行う。
準備学習 時間外学習			様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
韓国語初歩の初歩 CD付／韓国語「文法」トレーニング				

科目名	IT	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西田剛 中田雅敏 中町俊自
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	アーティスト・ミュージシャン・プロデュース業等の傍ら、YouTube等への投稿やSNSを利用し、音楽史などを教えている						
授業の学習 内容	現代の芸能人・アーティストは、SNSの利用が「仕事」につながるケースが多くなってきている。 この授業を通じて、正しいスキル・SNSの取り扱い・リテラシーを身に付け、これからの学生生活、そして卒業した後も、芸能界で生きていくためのITスキルを身につける。						
到達目標	パソコン(Mac)の操作ができるようになる。 インターネット・SNSをリテラシーを守り、取扱いながら自己プロデュースができるようになる。 プロフィール・音源・動画など、自分の芸能活動に役立つITスキルを身につけ、自身のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PCの操作方法／COM Portal(メール)の使い方(署名等) 何かを添付したりダウンロードする方法を学ぶ ITリテラシー冊子① ITリテラシーとは？	
2		講義・演習	イラストレーター基礎①描画の方法・文字入力 Word基礎 COM Debut Bankを開いてみる ITリテラシー冊子② ITの基本	事前に宣材写真(アー写)をGoodreader経由でダウンロードし、確認しておく
3		講義・演習	自分のアー写の取扱いについて COM Debut Bankをアップデート ITリテラシー冊子③ ソーシャルメディアについて	デビューバンクを作成する、情報の更新
4		講義・演習	イラストレーター・Word応用 COM Debut Bankを充実させる ITリテラシー冊子③ SNSのトラブルについて	デビューバンクを作成する、情報の更新
5		講義・演習	SNSの種類・良い事例・悪い事例を知る ITリテラシー冊子④ さまざまな権利や法律	自分のSNSを見直す
6		講義・演習	iMovieの使い方を学ぶ(操作方法・取り込み・編集) ITリテラシー冊子⑤ ICTを取り巻く環境の変化	動画撮影(授業風景や自分の作品撮影)
7		講義・演習	iMovieの使い方を学ぶ(自分が撮ったものを編集してみる) ITリテラシー冊子⑥ ITトレンド	今流行しているITトレンドについて調べる
8		講義・演習	自分の作った映像に効果を入れる(応用)	動画作品を作成する
9		講義・演習	LogicまたはGarage bandを使用する① 曲の編曲と音データの知識	音編集を実際に行う
10		講義・演習	LogicまたはGarage bandを使用する② リズムを意識した曲の編曲	音編集を実際に行う
11		講義・演習	LogicまたはGarage bandを使用する③ 小節を意識した自然な曲の編曲	音編集を実際に行う
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	LogicまたはGarage bandを使用する④ データの書き出しと配信・共有方法	音編集と配信を実際に行う
14		講義・演習	テスト (イラレ・ワード等を使用)	
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad／携帯電話／筆記用具／COMポータルマニュアル冊子／ITリテラシー冊子				

科目名	Body Fundamental1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	軽部裕美
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1)すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を学ぶ (2)セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1)ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2)自分の身体を知ることによってケガをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について（自分の身体を感じる）	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	動くための姿勢	日常から姿勢を意識する
4		講義・演習	呼吸（呼吸のしくみ、胸郭について）	自分がどのように呼吸をしているのかを感じる
5		講義・演習	腹筋（腹筋の種類と働き）	腹筋のエクササイズを意識して行う
6		講義・演習	骨盤（機能、構造、動きについて）	骨盤がどのように使われているかに意識を向ける
7		講義・演習	股関節（位置、どのように動くのか）	ブリエやタンジュ、動きの中でどのように使っているか
8		講義・演習	膝（機能、構造、動きについて）	柔らかいブリエやダウンの動きができているか
9		講義・演習	足（基盤としての足の構造、機能について）	土台として機能しているか
10		講義・演習	腕（構造、動き、ポールドブラについて）	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	背骨（機能、構造、体幹の動きについて）	身体の繋がりの中で動けているか
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ（試験返却、答え合わせ）	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけではなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Body Fundamental2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	軽部裕美
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1)すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を学ぶ (2)セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1)ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2)自分の身体を知ることによってケガをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について（自分の身体を感じる）	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	動くための姿勢	日常から姿勢を意識する
4		講義・演習	呼吸（呼吸のしくみ、胸郭について）	自分がどのように呼吸をしているのかを感じる
5		講義・演習	腹筋（腹筋の種類と働き）	腹筋のエクササイズを意識して行う
6		講義・演習	骨盤（機能、構造、動きについて）	骨盤がどのように使われているかに意識を向ける
7		講義・演習	股関節（位置、どのように動くのか）	ブリエヤタンジュ、動きの中でどのように使っているか
8		講義・演習	膝（機能、構造、動きについて）	柔らかいブリエヤダウンの動きができているか
9		講義・演習	足（基盤としての足の構造、機能について）	土台として機能しているか
10		講義・演習	腕（構造、動き、ポールドブラについて）	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	背骨（機能、構造、体幹の動きについて）	身体の繋がりの中で動けているか
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ（試験返却、答え合わせ）	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけではなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ミュージックセオリー1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。						
到達目標	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、現場で即戦力とされる人材として育成するために音楽理論といわれるそれらの内容について分かり易く解説するとともに、実際に楽譜が読めるように訓練することで自身のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への楽譜の移り 変わりを知る 楽器ごとの音域を知る
2		講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名を答え、鍵盤の位置と一致させる
3		講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方が分かる 連符について知る
4		講義・演習	拍子、複合拍子	小節線 単純拍子、複合・混合拍子 タイ、シンコペーシ ョンを理解する
5		講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるようにする
6		講義・演習	スコアリーディング	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
7		講義・演習	中間テスト	
8		講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを理解する（＃系メジャース ケール）
9		講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする （♭系メジャースケール）
10		講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の違いが分かる 臨時記号の効力 正しい楽 譜の書き方を知る
11		講義・演習	テンポ、強弱記号	速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ
12		講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13		講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14		講義・演習	期末テスト	
15		講義・演習	テスト返却、復習	楽譜を見てKeyや雰囲気をつかむことができるようにする
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社 国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	ミュージックセオリー2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について基礎から学び、卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	音楽業界で飛びかう用語や楽譜の基礎知識を理解できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	マイナースケール	マイナースケールの仕組みを理解し、調号を用いてナチュラルマイナースケールが書けるよう復習する
2		講義・演習	マイナースケール	ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの特徴を理解し、スケールが書けるよう復習する
3		講義・演習	近親調	それぞれの調の関係性を理解し復習する
4		講義・演習	移調	五線を用いて移調が出来るようにする
5		講義・演習	奏法	省略記号、奏法記号、装飾記号を復習する
6		講義・演習	スコアリーディング	1w～5wまでの復習をし、理解度を高める
7		講義・演習	中間テスト	
8		講義・演習	トライアド	コードの概念とトライアドの構造を理解し復習する
9		講義・演習	7thコード	トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させることが出来るようにする
10		講義・演習	7thコードの復習とdim7	トライアド、7thコード、dimコードの構造を復習する
11		講義・演習	その他のコード	add9、sus4、6thコードを復習する
12		講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13		講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14		講義・演習	期末テスト	
15		講義・演習	テスト返却、総復習	楽譜を見て、keyや雰囲気などをつかみ、表現できる
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	イヤートレーニング1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音の歴史、モーツァルト、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする
2		講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子と4拍子のビート感覚を養う 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を聴き音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3		講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り 音程(全音と半音の区別)	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5		講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱 音程(1.2.3.8度、＃となし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6		講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱ができる 音程(1.2.3.8度、＃とあり)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7		講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次の授業に備える
8		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(4.5度＃となし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9		講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(1～5度8度、＃とあり) トライアーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1～5度、8、6度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1～8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major/minorのコード判定、音程(1～8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13		講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14		講義・演習	期末テスト	
15		講義・演習	テスト返却、総復習	
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	
【使用教科書・教材・参考書】 「イヤートレーニング」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部(発売)				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	イヤートレーニング2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ET I で習ったリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajorのメロディー書き取り、Major,Minorのコード聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
2		講義・演習	3連符のリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajor,Cminorのメロディー書き取り、コードの聴き分け(C,G,F)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
3		講義・演習	リズム打ち、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
4		講義・演習	リズム打ち、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
5		講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
6		講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
7		講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8		講義・演習	6/8拍子・タイの付いたリズム打ち、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、ベース (F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
9		講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、ベース (F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
10		講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、ベース (F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
11		講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
12		講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
13		講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
14		講義・演習	期末テスト	
15		講義・演習	テスト返却、総復習	
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	
【使用教科書・教材・参考書】イヤートレーニング」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部(発売)				

科目名	オーディション対策 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾真実
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	96年東京コミュニケーションアート専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。 その後、DJ、MC、ナレーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動 芸歴18年						
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自己PR出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	プロフィールシート見直し	プロフィールシートの内容を見直す
2		講義・演習	模擬オーディションCM1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
3		講義・演習	模擬オーディションCM2 企業研究を行うこと	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
4		講義・演習	模擬オーディションテレビドラマ1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
5		講義・演習	模擬オーディションテレビドラマ2 作品・監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
6		講義・演習	模擬オーディション映画1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
7		講義・演習	模擬オーディション映画2 作品・監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
8		講義・演習	模擬オーディション舞台 作品・演出家について知る／2.5次元ミュージカルについて	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
9		講義・演習	模擬オーディションアニメ 作品・音響監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
10		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り1 自己PR30秒・パフォーマンス30秒作成	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
11		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り2 入りたい事務所や劇団に合わせた内容作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
12		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り3 自信持ってパフォーマンスができる心作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
13		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り 卒業後のオーディションへの向き合い方について	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			オーディションを受ける予定での服装・課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
毎回オーディションを意識した服装やメイクで授業へ参加。				

科目名	Body Fundamental 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	軽部裕美
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1)すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を学ぶ (2)セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1)ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2)自分の身体を知ることによってケガをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について（自分の身体を感じる）	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	動くための姿勢	日常から姿勢を意識する
4		講義・演習	呼吸（呼吸のしくみ、胸郭について）	自分がどのように呼吸をしているのかを感じる
5		講義・演習	腹筋（腹筋の種類と働き）	腹筋のエクササイズを意識して行う
6		講義・演習	骨盤（機能、構造、動きについて）	骨盤がどのように使われているかに意識を向ける
7		講義・演習	股関節（位置、どのように動くのか）	ブリエやタンジュ、動きの中でどのように使っているか
8		講義・演習	膝（機能、構造、動きについて）	柔らかいブリエやダウンの動きができているか
9		講義・演習	足（基盤としての足の構造、機能について）	土台として機能しているか
10		講義・演習	腕（構造、動き、ポールドブラについて）	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	背骨（機能、構造、体幹の動きについて）	身体の繋がりの中で動けているか
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ（試験返却、答え合わせ）	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけではなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Body Fundamental 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	軽部裕美
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1)すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を学ぶ (2)セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1)ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2)自分の身体を知ることによってケガをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について（自分の身体を感じる）	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	動くための姿勢	日常から姿勢を意識する
4		講義・演習	呼吸（呼吸のしくみ、胸郭について）	自分がどのように呼吸をしているのかを感じる
5		講義・演習	腹筋（腹筋の種類と働き）	腹筋のエクササイズを意識して行う
6		講義・演習	骨盤（機能、構造、動きについて）	骨盤がどのように使われているかに意識を向ける
7		講義・演習	股関節（位置、どのように動くのか）	ブリエやタンジュ、動きの中でどのように使っているか
8		講義・演習	膝（機能、構造、動きについて）	柔らかいブリエやダウンの動きができていくか
9		講義・演習	足（基盤としての足の構造、機能について）	土台として機能しているか
10		講義・演習	腕（構造、動き、ポールドブラについて）	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	背骨（機能、構造、体幹の動きについて）	身体の繋がりの中で動いているか
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ（試験返却、答え合わせ）	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけではなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクターキャリア教育	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	瀬戸香織
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	玉川大学文学部芸術学科芸術表現演劇コース卒業。2003年～2010年まで、ワイドアートの専門家として、全国各地のミュージカル事業に携わる他、演出、演出助手、文芸助手、舞台俳優、MC、コーディネーターとして活動。2011年～現在に至るまで東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校の常勤スタッフとして勤務。						
授業の学習 内容	学校を卒業した後に、俳優として・社会人として、生き残っていくための社会人基礎力及び、芸能界のしきたりやルールを知る。俳優として、最低限知らなければならない情報を学ぶ。						
到達目標	芸能界のルール、社会人としてのマナーを身に着け、実践できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	社会人基礎力とは何か？	「社会人の基礎知識」読了の事
2		講義・演習	「辞めないことが唯一の近道」 ゲストスピーカー：俳優	振り返りノート作成
3		講義・演習	「セルフマネジメントの大切さ」 ゲストスピーカー：芸能プロダクション社長	振り返りノート作成
4		講義・演習	「あの売れっ子俳優はなぜ売れたか」 ゲストスピーカー：チーフマネージャー	振り返りノート作成
5		講義・演習	「愛される若手俳優の処世術」 ゲストスピーカー：劇団俳優	振り返りノート作成
6		講義・演習	「マネージャーは部下か？上司か？～バラエティ番組で曲解される事実」	振り返りノート作成
7		講義・演習	「ここだけは外せない演劇史①近代・現代史」ゲストスピーカー：演出家	振り返りノート作成
8		講義・演習	「ここだけは外せない演劇史②古代史」ゲストスピーカー：演出家	振り返りノート作成
9		講義・演習	「俳優の安全と舞台知識」 ゲストスピーカー：舞台監督	振り返りノート作成
10		講義・演習	「新人の生きる道」 ゲストスピーカー：声優事務所社長	振り返りノート作成／グループセッション準備
11		講義・演習	「社会人とは何か？」グループセッション	振り返りノート作成／個人発表の準備
12		講義・演習	テスト 「社会人とは何か？」プレゼンテーション	振り返りノート作成
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	社会人基礎力とは何か ～振り返り・まとめ～	まとめ作成
準備学習 時間外学習			課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
社会人の基礎力				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	産学連携ゼミ1A	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	元吉庸泰
学科・コース	スーパードダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	舞台演出家16年 舞台「ソーホーシンダース」「僕のヒーローアカデミア」など演出						
授業の学習 内容	映像を制作するための考え方や段取り・編集技術の基礎といったような作り手の意識を身につけ、 これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	企画構成や撮影をするための考え方や編集ソフトの使い方に慣れてもらい簡単なプロフィール映像の制作をする。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	映像制作を学ぶ意味と映像の基礎知識	今後自分の作っていききたい動画構成を考える
2		講義・演習	映像の種類と制作に向けての考え方、参考映像鑑賞	アンケート(各生徒の好み)
3		講義・演習	編集ソフトの基礎(設定・素材取り込み・カット編集・書き出し)	動画素材の準備
4		講義・演習	チームで撮影(ダンス・演技)	企画構成のイメージ
5		講義・演習	撮影したものを編集(音楽当て、同期、差し替え)	基本テクニック復習
6		講義・演習	編集応用1(フェードインアウト、明るさ、色調整)	基本テクニック復習
7		講義・演習	編集応用2(キーフレーム、ズームインアウト、可変)	基本テクニック復習
8		講義・演習	おさらい	基本テクニック復習
9		講義・演習	企画構成基礎(タイトル画面、自己紹介、ダンスや演技)	レポート(プロフィール映像の構成)
10		講義・演習	編集応用3(テロップ入れ)	基本テクニック復習
11		講義・演習	プロフィール映像制作(撮影・編集)	基本テクニック復習
12		講義・演習	プロフィール映像制作(撮影・編集)	基本テクニック復習
13		講義・演習	課題発表	プレゼン準備
14		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ2A	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	元吉庸泰
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	舞台演出家16年 舞台「ソーホーシンダース」「僕のヒーローアカデミア」など演出						
授業の学習 内容	映像を制作するための考え方や段取り・編集技術の基礎といったような作り手の意識を身につけ、 これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	オーディションなどに提出できる映像を完成させる。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	映像の基礎知識、制作チーム決め	今後自分の作っていききたい動画構成を考える
2		講義・演習	ブレインストーミング	基本テクニック復習
3		講義・演習	自分と映像をリンクさせて踊ることができる①	基本テクニック復習
4		講義・演習	映像の基礎知識を学ぶ	基本テクニック復習
5		講義・演習	自分と映像をリンクさせて踊ることができる②	基本テクニック復習
6		講義・演習	制作工程を学び実践できる	基本テクニック復習
7		講義・演習	自分のシルエットと踊ることができる	基本テクニック復習
8		講義・演習	シルエット制作をすることができる	基本テクニック復習
9		講義・演習	自分とシルエットをリンクさせて踊ることができる	基本テクニック復習
10		講義・演習	ステージ表現を学び実践することができる	基本テクニック復習
11		講義・演習	図形を動かすことができる	基本テクニック復習
12		講義・演習	図形を制作することができる	基本テクニック復習
13		講義・演習	自分と図形をリンクさせて踊ることができる	基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ3A	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	元吉庸泰
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	舞台演出家16年 舞台「ソーホーシンダース」「僕のヒーローアカデミア」など演出						
授業の学習 内容	映像を制作するための考え方や段取り・編集技術の基礎といったような作り手の意識を身につけ、 これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	オーディションなどに提出できる映像を完成させる。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	映像制作を学ぶ意味と映像の基礎知識	今後自分の作っていききたい動画構成を考える
2		講義・演習	映像の種類と制作に向けての考え方、参考映像鑑賞	アンケート(各生徒の好み)
3		講義・演習	編集ソフトの基礎(設定・素材取り込み・カット編集・書き出し)	動画素材の準備
4		講義・演習	チームで撮影(ダンス・演技)	企画構成のイメージ
5		講義・演習	撮影したものを編集(音楽当て、同期、差し替え)	基本テクニック復習
6		講義・演習	編集応用1(フェードインアウト、明るさ、色調整)	基本テクニック復習
7		講義・演習	編集応用2(キーフレーム、ズームインアウト、可変)	基本テクニック復習
8		講義・演習	おさらい	基本テクニック復習
9		講義・演習	企画構成基礎(タイトル画面、自己紹介、ダンスや演技)	レポート(プロフィール映像の構成)
10		講義・演習	編集応用3(テロップ入れ)	基本テクニック復習
11		講義・演習	プロフィール映像制作(撮影・編集)	基本テクニック復習
12		講義・演習	プロフィール映像制作(撮影・編集)	基本テクニック復習
13		講義・演習	課題発表	プレゼン準備
14		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ4A	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	元吉庸泰
学科・コース	スーパードダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	舞台演出家16年 舞台「ソーホーシンダース」「僕のヒーローアカデミア」など演出						
授業の学習 内容	映像を制作するための考え方や段取り・編集技術の基礎といったような作り手の意識を身につけ、 これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	企画構成や撮影をするための考え方や編集ソフトの使い方に慣れてもらい簡単なプロフィール映像の制作をする。 オーディションなどに提出できる映像を完成させる。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	映像の基礎知識、制作チーム決め	今後自分の作っていきたい動画構成を考える
2		講義・演習	ブレインストーミング	基本テクニック復習
3		講義・演習	自分と映像をリンクさせて踊ることができる①	基本テクニック復習
4		講義・演習	映像の基礎知識を学ぶ	基本テクニック復習
5		講義・演習	自分と映像をリンクさせて踊ることができる②	基本テクニック復習
6		講義・演習	制作工程を学び実践できる	基本テクニック復習
7		講義・演習	自分のシルエットと踊ることができる	基本テクニック復習
8		講義・演習	シルエット制作をすることができる	基本テクニック復習
9		講義・演習	自分とシルエットをリンクさせて踊ることができる	基本テクニック復習
10		講義・演習	ステージ表現を学び実践することができる	基本テクニック復習
11		講義・演習	図形を動かすことができる	基本テクニック復習
12		講義・演習	図形を制作することができる	基本テクニック復習
13		講義・演習	自分と図形をリンクさせて踊ることができる	基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ1B	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	元吉庸泰 他
学科・コース	スーパードダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	舞台演出家16年 舞台「ソーホーシンダース」「僕のヒーローアカデミア」など演出						
授業の学習 内容	舞台演出の視点から、これからの芸能界で活躍する俳優・声優になるために必要となる人間力・基礎力などを身に付け、 これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	演出を学ぶことで、演劇の構造を知り、興行の構造を知る。 選ばれる俳優になるための戦略を立てられるようになる。 演出家の意図を読み取り、提案できる俳優を目指す。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	これから活躍する俳優に必要な要素 脚本読解の基礎	課題の実施、次週発表
2		講義・演習	演じるとは何か？	課題の実施、次週発表
3		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解①	課題の実施、次週発表
4		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解②	課題の実施、次週発表
5		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解③	課題の実施、次週発表
6		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解④	課題の実施、次週発表
7		講義・演習	演出とはなにか	課題の実施、次週発表
8		講義・演習	演出プランの構築①	課題の実施、次週発表
9		講義・演習	演出プランの構築②	課題の実施、次週発表
10		講義・演習	演出プランの構築③	課題の実施、次週発表
11		講義・演習	演出プランの構築④	課題の実施、次週発表
12		講義・演習	作品発表・プレゼンテーション	課題の実施、次週発表
13		講義・演習	前期まとめ「演出技能を備えた役者とは？」	課題の実施、次週発表
14		講義・演習	イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			指定された脚本について読み込む、脚本読解をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
随時配布される脚本				

科目名	産学連携ゼミ2B	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	元吉庸泰
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二						
教員の略歴	舞台演出家16年 舞台「ソーホーシンダース」「僕のヒーローアカデミア」など演出						
授業の学習 内容	舞台演出の視点から、これからの芸能界で活躍する俳優・声優になるために必要となる演技の技術・応用力などを身に付け、これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	演出を学ぶことで、演劇の構造を知り、興行の構造を知る。 選ばれる俳優になるための戦略を立てられるようになる。 演出家の意図を読み取り、提案できる俳優を目指す。 即オーディションで、披露できるレベルの台本読解力と演技力を見につける。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2－①	課題の実施、次週発表
2		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2－②	課題の実施、次週発表
3		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2－③	課題の実施、次週発表
4		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2－④	課題の実施、次週発表
5		講義・演習	演出プラン実習①	課題の実施、次週発表
6		講義・演習	演出プラン実習②	課題の実施、次週発表
7		講義・演習	演出プラン実習③	課題の実施、次週発表
8		講義・演習	演出プラン実習④	課題の実施、次週発表
9		講義・演習	美術の発注と実際	課題の実施、次週発表
10		講義・演習	劇場・ホールと予算の実際	課題の実施、次週発表
11		講義・演習	衣裳発注の実際	課題の実施、次週発表
12		講義・演習	キャスティングの実際	課題の実施、次週発表
13		講義・演習	発表と考察	課題の実施、次週発表
14		講義・演習	イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ3B	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	元吉庸泰 他
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
学科・コース	スーパードダンス科 昼間部二						
教員の略歴	舞台演出家16年 舞台「ソーホーシンダース」「僕のヒーローアカデミア」など演出						
授業の学習 内容	舞台演出の視点から、これからの芸能界で活躍する俳優・声優になるために必要となる人間力・基礎力などを身に付け、これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	即オーディションで、披露できるレベルの台本読解力と演技力を見につける。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	これから活躍する俳優に必要な要素 脚本読解の基礎	課題の実施、次週発表
2		講義・演習	演じるとは何か？	課題の実施、次週発表
3		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解①	課題の実施、次週発表
4		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解②	課題の実施、次週発表
5		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解③	課題の実施、次週発表
6		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解④	課題の実施、次週発表
7		講義・演習	演出とはなにか	課題の実施、次週発表
8		講義・演習	演出プランの構築①	課題の実施、次週発表
9		講義・演習	演出プランの構築②	課題の実施、次週発表
10		講義・演習	演出プランの構築③	課題の実施、次週発表
11		講義・演習	演出プランの構築④	課題の実施、次週発表
12		講義・演習	作品発表・プレゼンテーション	課題の実施、次週発表
13		講義・演習	前期まとめ「演出技能を備えた役者とは？」	課題の実施、次週発表
14		講義・演習	イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			指定された脚本について読み込む、脚本読解をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
随時配布される脚本				

科目名	産学連携ゼミ4B	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	元吉庸泰
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	舞台演出家16年 舞台「ソーホーシンダース」「僕のヒーローアカデミア」など演出						
授業の学習 内容	舞台演出の視点から、これからの芸能界で活躍する俳優・声優になるために必要となる演技の技術・応用力などを身に着け、これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	演出を学ぶことで、演劇の構造を知り、興行の構造を知る。 選ばれる俳優になるための戦略を立てられるようになる。 演出家の意図を読み取り、提案できる俳優を目指す。 即オーディションで、披露できるレベルの台本読解力と演技力を見につける。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2－①	課題の実施、次週発表
2		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2－②	課題の実施、次週発表
3		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2－③	課題の実施、次週発表
4		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2－④	課題の実施、次週発表
5		講義・演習	演出プラン実習①	課題の実施、次週発表
6		講義・演習	演出プラン実習②	課題の実施、次週発表
7		講義・演習	演出プラン実習③	課題の実施、次週発表
8		講義・演習	演出プラン実習④	課題の実施、次週発表
9		講義・演習	美術の発注と実際	課題の実施、次週発表
10		講義・演習	劇場・ホールと予算の実際	課題の実施、次週発表
11		講義・演習	衣裳発注の実際	課題の実施、次週発表
12		講義・演習	キャスティングの実際	課題の実施、次週発表
13		講義・演習	発表と考察	課題の実施、次週発表
14		講義・演習	イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	発声・ボディートレーニング 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ストレッチ・体力作り ウラ声・オモテ声による発声練習・滑舌練習 インプロゲーム・シアターゲームを行う						
到達目標	自分がイメージした声・滑舌ができるようになる 腹式呼吸ができるようになる 相手に声が届くようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	発声について・メカニズム、腹式呼吸	呼吸の体操を実践 (発声に備えてのテキスト予習)
2		講義・演習	ストレッチ・呼吸の体操・声を出す	呼吸の体操を実践
3		講義・演習	ストレッチ・体力作り・発声(イエアオウ)	筋トレ・授業の復習
4		講義・演習	ストレッチ・発声(ウラ声、オモテ声)	ストレッチの順番を覚えてくる
5		講義・演習	ストレッチ・発声・ ストレッチリーダーを決める	自分たちだけでストレッチを行う 授業の復習
6		講義・演習	ストレッチ・発声・ シアターゲーム・滑舌	早口言葉の練習
7		講義・演習	ストレッチ・発声・ 滑舌(外郎売り)	外郎売りを読む・覚える
8		講義・演習	ストレッチ・発声・ シアターゲーム・滑舌	外郎売りを覚える
9		講義・演習	ストレッチ・発声・ シアターゲーム・滑舌	外郎売りを覚える
10		講義・演習	ストレッチ・発声・滑舌(テスト課題)	呼吸の練習・外郎売を覚え練習
11		講義・演習	ストレッチ・発声・滑舌(テスト課題)	呼吸の練習・外郎売を覚え練習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	テスト(外郎売りの発表)	反省、振り返りをし課題を見つける
14		講義・演習	ストレッチ・発声・テストの反省会	後期に向け、反復練習
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad教材「発声・滑舌教本」／外郎売り原稿				

科目名	発声・ボディートレーニング 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ストレッチ・発声 インプロゲーム・シアターゲームを行う 戯曲の一部の場面のセリフによる演技						
到達目標	自分がイメージした声・滑舌ができるようになる 相手に声が届くようになる 状況に応じた声が出るようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム	呼吸の体操を実践 (発声に備えてのテキスト予習)
2		講義・演習	ストレッチ・発声・ 短いテキストの配布、説明	台本を読んでくる
3		講義・演習	ストレッチ・発声・前回配布台本の本読み	台本を読んでくる
4		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み① 「台本」とは	台本を読んでくる
5		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み② 発声を活かした台本読み	台本を読んでくる
6		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み③ 滑舌を活かした台本読み	台本を読んでくる
7		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み④ 外郎売りとは	外郎売りを読む・覚える
8		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み⑤ 外郎売りのポイント指導	外郎売りを覚える
9		講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古① 立ち稽古に必要な心構え	動きを覚える
10		講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古② 演出について考える	役を表現するための演技の練習
11		講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古③ 相手役とのコミュニケーション	役を表現するための演技の練習
12		講義・演習	ストレッチ・発声・テスト	反省、振り返りをし課題を見つける
13		講義・演習	ストレッチ・発声・テストの反省会	感想文を書く
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad教材「発声・滑舌教本」／演技テキスト台本				